

ゴム混練り・押出成形の技術動向とトラブル対策

日時
2017年 8月28日 (月)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

講座のポイント

ゴム押出成形の生産性や成形品質向上をめざす上で重要なポイントを詳細混練り工程の最適条件の考え方や発生トラブル対策についても解説!

税込受講料

1名 48,600円
2名以上1名 45,360円

ゴム工業で最も難しくバラツキの大きい工程の一つが混練り工程である。混練りにおいて気がつかない不良があると、そのまま後工程での大きなトラブルにつながる。今回は、この混練り工程の基本と課題、発生しやすいトラブルを説明し、押出成形を助ける混練り条件を考え、押出成形の技術動向と発生トラブル対策について説明する。

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師 西澤技術研究所 代表 西澤 仁 氏
日本ゴム協会 技術委員会幹事、 難燃材料研究会顧問

内容

- ・ゴム混練技術の基本と課題
 - ・ロール混合
 - ・密閉式混合
- ・混練技術の現状と課題
 - ・ロール
 - ・密閉式混練設備
- ・混練作業でのトラブル対策
 - ・分散不良、ヤケ、ゲル化等
- ・押出加工の基本技術と押出作業の注意事項
 - ・未加硫ゴムの加工性指標と押出加工性との関係
 - ・押出加工性を向上する各工程の工夫
(フィード、スクリュウ、フレーカープレート、ヘッド、ダイ)
- ・押出加工におけるトラブル対策
 - ・外観不良、外径変動、ゲル、スコーチ(ヤケ)、目やに、ウェルライン、
- ・混練りと押出加工性の関係
 - ・押出加工性改良のためのゴム材料、設備、加工条件のまとめ
 - ・押出機、スクリュウ、その他プロセス
 - ・ゴム材料、配合
 - ・加工条件
 - ・加工性の評価技術

質疑応答 【事前アンケートのご質問について解説致します】
内容によって一部回答できない場合もございますのでご了承ください。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 ゴム混練り・押出成形の技術動向とトラブル対策

セミナーコード

1101-170828

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/8/28 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				